

結進仕  
団躍奉



発行 者  
一般社団法人 鹿児島県建築協会  
〒892-0853 鹿児島市城山町2-13  
電話 099-224-5220 FAX 099-227-5479  
http://www.kagoken.net/  
E-mail: info@kagoken.net



おはら祭 昭和24年から始まった南九州最大の祭り。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに従来の形で開催された。毎年11月2日・3日に天文館周辺で行われている。(写真提供:鹿児島市)

令和5年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。会員の皆様には、健やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また平素から、当協会の事業運営等にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、ロシアのウクライナ侵攻や安倍元首相の銃撃事件など、国内外で社会を揺るがす出来事がありました。一方、明るい話題では、第12回全国和牛能力共進会が県内2か所で開催され、鹿児島黒牛が「和牛日本一」の栄冠に輝きました。

近年、ロシアの軍事侵攻に対する経済制裁の影響から、原油価格・物価高騰への対応が必要となりました。建築現場でも、鉄筋・鉄骨・木材・生コンなど主要資材の価格が上昇し、これに少子高齢化に起因する人手不足の影響から人件費は高騰するなど、適正利潤を得られない状況が続いています。更に、建設キャリアアップシステム活用やICT活用など、DX推進への対応も求められています。

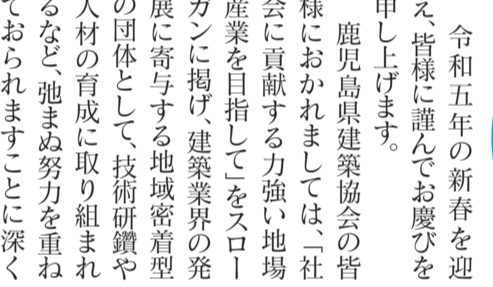
当協会では、適正利潤の確保に向けた取組みとして、公共建築工事の「共通費率の早期改定」と「最低制限価格の引上げ」を発注官庁に要望してまいりますので、皆様方のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

ところで本年は、「笑卵(みずのとう)」年です。株式市場では「子は繁盛、丑はつまづき、寅千里を走り、卯は跳ねる」という格言があり、兎は跳ねる特徴があるため「景気が上向きに跳ねる、回復する」と言われ、縁起のよい年として知られています。これに肖り、我々建築業界も大きく飛躍する年になることを期待いたしております。

最後に、本年が皆様方にとって素晴らしい年となるようご祈念申し上げます。新年のあいさついたします。



年頭所感  
一般社団法人鹿児島県建築協会 会長 中村 明人



令和五年の新春を迎え、皆様にご慶びを申し上げます。鹿児島県建築協会の皆様におかれましては、「社会に貢献する力強い地場産業を目指して」をスローガンに掲げ、建築業界の発展に寄与する地域密着型の団体として、技術研鑽や人材の育成に取り組まれているなど、弛まぬ努力を重ねておられますことに深く

敬意を表しますとともに、本市と「大規模災害時における応急対策業務に関する協定」を締結いただくなど、日頃から市政に対して、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。いよいよ今年も、「かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。

新型コロナウイルス感染症の影響による開催延期という困難を乗り越え、迎える両大会が心に残る素晴らしいものとなるよう大会を盛り上げてまいります。

さて、我が国では、長引く新型コロナウイルスへの対応や物

質の高騰など、さまざまな問題に直面しては、経済の再生を最優先に取り組みるとともに、DXへの投資や子育て・子ども世代への支援強化などを進めています。本市におきましても、引き続き、新型コロナウイルスや物価高騰対策など、市民の皆様への「いのち・くらし・しごとを守る」取組に万全を期すとともに、人口減少・少子高齢化の進行など、直面するさまざまな課題を乗り越え、将来にわたる持続可能なまちを築き上げていくため、「第六次鹿児島市総合計画」に基づく各施策のさらなる



「彩りあふれる躍動都市・かごしま」の実現に向けて  
鹿児島市長 下鶴 隆央

推進を図ってまいります。主な取組として、建築分野におきましては、浜町一番街区再開発への支援を進めるなど、機能性の高い都市空間の形成に取り組みむとともに、桜島地域における小中一貫教育の導入に向けて、新たな学校施設の基本・実施設計を行うほか、暮らしやすい生活基盤を構築するため、住宅政策の基本的な方向性を示す住生活基本計画の策定を進めてまいります。

また、観光が新たな経済成長のエンジンとなるよう高付加価値なインパクト観光地づくりに取り組むほか、ICTの活用による便利で住みよくなるまちを推進するための行政手続のオンライン化、保育所等の待機児童の早期解消、命を守る危機管理、防災力の向上、ゼロカーボン

の長寿命化、空き家の適正管理・利活用などに取り組み、環境負荷の低減等による持続可能な建築、住み続けることができれば、まわりの環境に貢献してまいります。

動に御尽力いただくとともに、建築をはじめ県政各般の施策の推進に御理解・御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。現下の我が国経済は、不安定な海外情勢や急激な円安などの影響により依然として先行きが不透明であるものの、ウイズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種施策の効果もあつて緩やかに持ち直してまいります。県におきましては、国の総合経済対策等を踏まえ、直面する物価の高騰による影響を緩和するとともに、コロナ禍からの経済社会活動の回復を確かなものとするため、市町村によるプレミアム商品券の発行に対する支援や飲食・特産品等に使用可能な割引クーポンの発行、原油・原材料高騰等対策特別資金の創設などに取り組んでまいります。今後も、国の施策と連携しながら、これまで補正予算に計上した各種事業を効果的かつ切れ目なく展開することにより、物価の高騰の影響を受けている生活者や事業者の負担軽減に努め、県内経済の早期回復を図ってまいります。また、急速な少子高齢化の進行等による本格的な人口減少社会を迎える中、新型コロナウイルス感染症の拡大やSDGsの

推進、デジタル化の進展、ジェンダー平等、カーボンニュートラルの実現など、新たな時代の潮流にも柔軟かつ的確に対応していくことが重要となっております。

中でもカーボンニュートラルの実現に向けた建築業界における取組については、建築物に再生可能エネルギー等を導入することによりエネルギー収支をゼロにすることを目指したZEBやZEHの普及が国主導で進められております。また、デジタル化については、建築企業の競争力強化やリモートワークの推進を図る観点から県において、公共建築工事におけるBIMなどICTの導入に向けた環境整備や研修会の開催等に取り組んでいくところです。

この他、県では、民間建築物の耐震化や公共施設

結ぶに、一般社団法人鹿児島県建築協会の更なる御発展と会員の皆様の益々の御健勝・御活躍を心よりお祈り申し上げます。新年の御挨拶いたします。



「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を目指して  
鹿児島県知事 塩田 康一

券の発行に対する支援や飲食・特産品等に使用可能な割引クーポンの発行、原油・原材料高騰等対策特別資金の創設などに取り組んでまいります。今後も、国の施策と連携しながら、これまで補正予算に計上した各種事業を効果的かつ切れ目なく展開することにより、物価の高騰の影響を受けている生活者や事業者の負担軽減に努め、県内経済の早期回復を図ってまいります。また、急速な少子高齢化の進行等による本格的な人口減少社会を迎える中、新型コロナウイルス感染症の拡大やSDGsの

推進、デジタル化の進展、ジェンダー平等、カーボンニュートラルの実現など、新たな時代の潮流にも柔軟かつ的確に対応していくことが重要となっております。

中でもカーボンニュートラルの実現に向けた建築業界における取組については、建築物に再生可能エネルギー等を導入することによりエネルギー収支をゼロにすることを目指したZEBやZEHの普及が国主導で進められております。また、デジタル化については、建築企業の競争力強化やリモートワークの推進を図る観点から県において、公共建築工事におけるBIMなどICTの導入に向けた環境整備や研修会の開催等に取り組んでいくところです。

結ぶに、一般社団法人鹿児島県建築協会の更なる御発展と会員の皆様の益々の御健勝・御活躍を心よりお祈り申し上げます。新年の御挨拶いたします。

# 新年のご挨拶

鹿見島労働局長 中所 照仁



明けましておめでとうございます。

新年を迎え、一般社団法人鹿見島県建築協会並びに会員の皆様には心よりお祝いを申し上げます。

さて、本県の雇用情勢については、6年以上にわたって有効求人倍率が1倍台を維持していますが、新型コロナウイルス感染症の状況による求職者の動向、原材料価格の上昇や円安が与える求人者への影響など、先行きは依然として不透明な状況となっております。労働局では、

人への投資の強化と労働移動の円滑化、多様な働き方の推進を図るために各種の支援に取り組むほか、建設業をはじめとする人手不足分野へのマッチング強化など、必要な対策を講じてまいります。

また、令和6年4月1日から建設業の時間外労働の上限規制が適用されることとなり、法令の周知、長時間労働削減対策について、集中的に企業の支援等を行ってまいります。

建設業における労働災害は、ここ数年高止まりの状況にあり、従来型の「墜落・転落災害」が3割を超え、大変憂慮される状況が続いております。労働者の方々が安全かつ健康で安心して働くことができる建設業を目指し、

皆様方には、労働局の各種取組に一層の御理解と御協力をいただき、関係者が一致協力して、より良い職場環境を築かれますことを祈念して、年頭のあいさついたします。

皆様方には、労働局の各種取組に一層の御理解と御協力をいただき、関係者が一致協力して、より良い職場環境を築かれますことを祈念して、年頭のあいさついたします。

# 新年のご挨拶

九州地方整備局鹿見島管轄事務所長 上田 昭雄



令和5年の新春を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

一般社団法人鹿見島県建築協会並びに会員の皆様におかれましては、平素より官庁管轄事業の推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今の新型コロナウイルス流行の影響もあり、今や社会全般に「働き方改革」が浸透し、多くの企業で従来の働き方を見直す時期に差し掛かっています。国

土交通省では管轄工事における働き方改革として、今年度より次の各種取組を追加実施しています。

まず、「週休2日の推進」に関してですが、担い手確保の観点からも若者の入職には週休2日を推進する必要があります。4週8休を前提とした労務費補正やモニタリングによる改善を実施し、新築工事（令和3年度からの取組）及び規模の大きい改修等工事（令和4年度からの取組）においては原則発注者指定としています。

次に、「ICTの積極的な活用」に関してですが、生産性向上の観点から、施工まで一貫したBIM

# 新春を迎えて

鹿見島県土木建築技監 福永 貴幸



令和5年の新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

一般社団法人鹿見島県建築協会会員の皆様には、平素より、本県の建築住宅行政の推進に御理解と御協力を賜り、また、安心・安全で良質な施工、人材育成地域貢献活動に御尽力いただいておりますことに心から御礼申し上げます。

さて、建築業は、本県の経済や雇用を支える上で、従来から大きな役割を担っているところであります。しかしながら、近年、人口減少の加速化の影響により生産年齢人口

が減少し続けており、担い手の確保が重要な課題となっております。

このため、「働き方改革」への取組強化が必要であり、県の管轄工事におきましては、適正な工期設定、週休2日の試行のほか、生産性向上を目指して、ウェブ上の情報共有システムを活用した受発注者間の書類作成やリモート操作による遠隔地監督業務の試行に加え、令和5年度は設計BIMの試行発注を予定しており、ICTの積極的な活用等を図ってまいります。

県有施設整備については、県営住宅原良団地や中種子養護学校校舎の改築などの工事を進めており、今後は、伊佐湧水警察署武道場、車庫や錦江湾高校屋内運動場などの発注を予定しております。

建築住宅行政については、災害による被害を未然に防止するため建物や宅地の耐震化や適切な維持保全の周知啓発に取り組むほか、改正建築物省エネ法により2025年には原則全ての建物に省エネ基準への適合が義務付けられることから円滑に移行できるように必要な準備を進めてまいります。また、空き家の適正管理など空き家対策にも注力してまいります。

貴協会の皆様におかれましても、引き続き「安心・安全・快適」で暮らしやすい住まいやまちづくりに御尽力を賜りますようお願いいたします。

年頭にあたり、貴協会の益々の御発展と皆様の御健康、御活躍を祈念し、新年のご挨拶いたします。

# 新年のご挨拶

いちき串木野市長 中屋 謙治



令和5年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスの世界的な余波のなか、新築・改修にかかわらず地球環境にまで考慮しつつ高品質の業務を遂行提供されておられる一般社団法人鹿見島県建築協会の皆様にごより感謝を申し上げます。

また、長年に渡り県内外の建築事業はもちろんのこと地域に根差した社会貢献活動にも力を注いでおられ

ること、高い技術力や機動力、ネットワークをもって災害時に迅速に献身的に市民生活を支えてくださっていることに敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症による長期の経済活動停滞、世界情勢の見通し不安定ななかではあります。が、地方自治体としましては、国・県の施策を基本に地域住民の暮らしを最優先とし、地域経済の回復を目指しているところであります。

私たちの暮らしに不可欠な「衣食住」のうち安心安全優良な生活拠点を構築維持することも優先すべきことであり、建築業界の皆様のお力なくしては成しえないことです。建築業界の

# 年頭所感

伊佐市長 橋本 欣也



明けましておめでとうございます。

令和5年の新春をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

一般社団法人鹿見島県建築協会の皆様には、日頃より本市の市政発展のためにご尽力いただき心から感謝申し上げます。

また、令和8年度の新庁舎完成に向けて、実施設計を多く保有する中で、維持管理・更新費用の抑制や保守量の縮減を進め、施設の

適正配置を図るため、公共施設等総合管理計画に基づいて整備を進めてまいります。市有施設の整備については、昨年、団地外壁改善工事、市営住宅解体工事、消防団詰所新築工事、小学校外壁改修工事などを発注しました。

今後も、安全安心な住みよいまちづくりを推進するため、限られた財源の中で優先順位を定め、計画的な工事発注を予定していきます。

結びに一般社団法人鹿見島県建築協会の益々のご発展と関係者の皆様のご健康とご活躍を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

大口ふれあいセンターの一部改修を含めた、庁舎と一体利用することを目的とし、図書館や資料館などもリニューアルする予定です。本年中の工事着手に向けて作業を進めてまいります。

本年は、燃ゆる感動がこしま国体が県内各地で開催されます。本市におきましても10月13日から16日に菱刈カヌー競技場で行なわれます。全国各地から越しになる選手、競技役員、関係者すべての皆さまをおもてなしの心でお迎えたいと思います。

# 新年のごあいさつ

屋久島町長 荒木 耕治



令和5年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

一般社団法人鹿見島県建築協会の皆様におかれましては、日頃より屋久島町の建築行政の推進に御理解と御協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の猛威は、各方面へ多大なる影響を及ぼしました。観光立町を掲げる本町におきましても、観光客の大幅な減少により、町民の皆様のご生活や地

域経済に大きな影響がありました。各種イベントの自粛や、学校活動の規模縮小が継続していることから、町民の皆様が一堂に会する機会が減っていることにつきましても大変危惧しているところであります。今後も、ワクチン接種や各種経済対策を図ってまいります。存ですが、高齢者の割合が高く、医療体制が脆弱な離島の自治体といたしましては、一日も早く感染が収束することを願っています。

さて、本町は、昨年、屋久島町公共施設等総合管理計画を改訂し、総務省指針で示された事項を新たに盛り込みました。施設のハード対策費用は、財政の御挨拶いたします。

結びに、一般社団法人鹿見島県建築協会の更なる御発展と、会員の皆様のご健康とご活躍を心から祈り申し上げます。新年の御挨拶いたします。

スポーツ観戦

鹿見島副支部長 川井田 哲

(株川井田組)



新年明けましておめでとうございます。

昨年サッカーのワールドカップが開催されグループリーグで日本が一位通過を決めた時は、国中が大いに盛り上がりました。サッカーはオフサイドというルールがあるが、減点に点数が入らないだけに二人入っただけで大騒ぎです。オフサイドに関しては非常に難しい場合があるので誤審や見逃しもあつたようですが、最近ではビデオ判定をするようになって選手も観客も判定に納得できるようになりました。ビデオ判定といえれば殆んどどのスポーツで採用されるようになり、審判の肩の荷も少し軽くなったのではないかと思います。

年末年始は昔取った杵柄で、駅伝やマラソンがあると必ずテレビを見ます。中学時代、厳しい指導

を受けましたが、今考えてみればどんなフォームで走れば楽に走れるのかという事を教えようとしていたのだと思います。前傾姿勢で腰を高く口を酸っぱく言われましたが、テレビで見ると速い選手は大体がその様なフォームのようです。最近の長距離走はアフリカの選手が上位を独占しているのを見ては、彼らのフォームが正に理想的なのでしょう。パネの強さを元々身に付けていて、自然と腰を高く維持できるので、それに太刀打ちするのは容易な事ではありません。但し、陸上の競走種目、競泳は速さだけを競う競技で勝ち負けがはっきりしていて、番狂わせもあまりありません。それが安心して見られるところではあります。逆を言えばサッカーのようにお祭り騒ぎになるほどの盛り上がりにはならないのかもしれないです。

今年も又、息抜きにスポーツ観戦を楽しみに過ごしたいと思っています。

故郷会

南薩支部理事 大坪 祥浩

(株大成寺工務店)



昨年11月、県の道路愛護活動作業、ふるさと道サポーター推進事業の一環で、草刈りと植栽帯の手入れ等の清掃、美化活動が行われました。この活動は会員の相互扶助の精神に基づきお互いの親睦と川辺町の発展向上に寄与することを目的とする団体、故郷川辺会での作業でした。

故郷川辺会では毎年3回作業を行い約500本の桜の木や、イチヨウの木、管理、紅葉の植栽、観光地、岩屋公園のブロンズ像やすらぎ観音の清掃などを行っています。会員は約100名、故郷である川辺会、他に、東京、大阪、県内では鹿児島市、各地でそれぞれ川辺会として活動されています。関西川辺会は昭和62年、関東川辺会は平成6年、故郷川辺会は平成9年、故郷川辺会は平成11年に発足されています。

この数年はコロナの影響により開催されていませんが、それまでは各地域の川辺会による交流会がそれぞれ開催され、毎回の地域からも参加、鹿児島からは10数名の方が参加されていました。関西川辺会主催では約300名、関東川辺会では約200名、かしま川辺会では約100名の方が参加されていたようです。

交流会の際には各川辺会共通で、最後に出席者全員で唱歌故郷を合唱することが通例となっていました。1番は子供の頃に山や川で遊んだ事を思い出して、2番は父や母はどうかしているのだから、友も変わらなく平穏に暮らしているだろう、思い出すのは故郷のこと。3番は自分の夢、目標を成就させたいが故郷へ帰ろうと歌詞の内容を自分なりに思いながら歌い、周りの方々の歌っている姿をみると遠く離れた故郷を懐かしむ気持ちも伝わってくるようです。自分が生まれ、育ち、住んでいる所を故郷として大切に、地域への愛着や誇りを持ち、将来を考え、来へと期待をもってこれからも前進していきたいと考えております。

私の財産

北薩支部長 井島 祐一郎

(株井島建設)



あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ致します。

私は、高校時代をごく平凡に過ごし、鹿児島県立文学部経済学科に入学しました。そこから普通ではない生活が始まりました。大学の授業には出ないし、進級のための試験も受けないので4回留年をして8年在学することになりました。音楽、麻雀、飲み会の毎日、勉強をした記憶はありません。強いて言うなら最後の半年は卒業に必要な単位を取るために勉強したかなという程度です。貧乏学生でとにかくお金がなく、1日1食電気・電話・ガス・水道全部止められた時期もありました。風呂は近銭湯が友達の家か、トイレは近

くの公園の公衆トイレといったように、まさにサバイバル生活でした。ただ楽器の練習は1日も欠かしたことはありません。もう60歳になりましたが、今思えば学生時代に勉強ではなく、サックスの練習を一生懸命したこと、自分の財産だと思っております。今も仲間と一緒に音楽を演奏して楽しめ、いろいろなイベントに呼ばれ演奏してギヤラまで貰えたりして、そのギヤラで今度は飲みに行つて音楽の話で盛り上がり、自分にとっては楽しく有意義な時間だと思っております。本来大学は勉強をして研究をするところですが、私はそうではなく、音楽をやりに行つたようなものでした。勉強ではなく、音楽をやつたことの方が、今を楽しんで過ごせていると思います。

また今年も天文館のキャバルホールでライブをすると思っておりますので、その時は是非聴きに来て下さい。

新年のご挨拶

曾於副支部長 川畑 勇一郎

(株川畑建設)



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健康に令和5年の新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年新型コロナウイルス感染症は収束しては増加を繰り返し、第8波をむかえました。私も4回目のワクチン接種をしました。早く治療薬が普及しインフルエンザと同等の扱いになることを期待しているところですが、また、ウクライナ情勢など海外の諸問題が影響し輸入資材の高騰、またそれに伴う物価高や円安など経済情勢は一段と厳しい年となりました。令和5年が少しでも諸問題が解決し良い方向に進むことを強く願っております。

私もお年寄りになりましたが、まだ若いつもりだったので実感がないところですが、最近目の疲れ(老眼)や体力の低下、朝早く目が覚めるなど高齢者の仲間入りをしていきます。特に体型の維持ができています。最近スマートウォッチを着用して、1日1万歩を目標に体を動かしてはいますが、お腹周りのふくらみはなかなか減りません。厄年でもあるので周りの人に迷惑をかけるまい、今年は体調管理をしっかり行いたいと思います。

また、現在趣味といえるのは、気の向いた時にしか乗らないバイクツーリング(近距離専門)と、誘われれば喜んでゴルフです。また、ウクライナ情勢など海外の諸問題が影響し輸入資材の高騰、またそれに伴う物価高や円安など経済情勢は一段と厳しい年となりました。令和5年が少しでも諸問題が解決し良い方向に進むことを強く願っております。

新年のご挨拶

種子島支部長 日高 政浩

(株日高工務店)



令和5年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

また皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えの事と存じます。昨年あつたという間の一年でした。年々短く感じておりました。年間を通して中村会長をはじめ、各支部長・役員の方々に色々と御指導頂き、誠にありがとうございました。そして種子島支部の会員の皆様には協会活動に御理解、御協力をいただき書面をもって厚くお礼を申し上げます。

最後にになりましたが、令和5年が皆様にとつてもさらさら良い年になりますよう御健康と御多幸を心からお祈り申し上げます。

支部便り

鹿屋支部長 梅木 一宏

(株藤建設)



鹿屋航空自衛隊に昨年11月米軍の無人偵察機8機が配備されました。中国の海洋進出を念頭に南西地域の警戒監視体制を強化することが目的で、同機の機体前方に取り付けられた高性能カメラで相手の艦艇などの映像をリアルタイムで受信出来ます。また、8機を運用することで、切れ目のない情報収集が可能となります。

自衛隊基地に無人偵察機が配備されるのは全国で初めてのことで鹿屋市内には、地上での遠隔操作や機体整備にあたる要員として約200人の米軍関係者が駐留することです。機体延長11メートル、翼幅20メートル、最高時速370キロメートル、航続距離1852キ

ロメートルで打撃能力を保有しています。今般はあくまで情報収集を目的としており武器は搭載していません。私も実際に飛行中の同機を見ましたが、騒音もあまり感じなかつたです。一部では反対運動もありますが、鹿屋市民の反応は概して冷静な様子です。ロシアのウクライナ侵攻が現実である世界情勢ではこのような防衛能力向上も必要な措置だと思われれます。

鹿屋市当局では鹿屋飛行場関連特別事業を実施して頂き地元企業としてはたいへんありがたく感謝しております。さらに事業拡大が進むよう情報活動を展開して行くことを考えております。

コロナ禍の8波到来で、ここ鹿屋でも景気は低迷の一途をたどっていますが、この疫病が終息し、平穏な日常がおとずれることを祈念申し上げます。便りとお礼いたします。

新年のご挨拶

奄美支部長 松元 利道

(株松元組)



新年あけましておめでとうございます。皆様には、平素から当協会の運営に格別のご支援とご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。と同時に、謹んで新春のお喜びを申し上げます。

3年前から世界で猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大は、昨年に入りやや収束の兆しが見えつつありましたが、まだまだ予断を許さない状況が続いております。

昨年、ロシアのウクライナ侵攻によって引き起こされた物価上昇による不安定な世界経済の余波は、建築業や工務店など私達の業界にとりましても資材やガソリン代、電気料金の高騰へとつながり、コロナ禍による

ウツドシヨックと相まって、経営は厳しさを募らせております。改善を見通せない状況ではあります。こうした中、関係各位、行政機関と一丸となって構造改革に取り組むことが肝要だと考えております。業界としても、働き方改革による労働環境の向上、安定経営を図りながら発注者や利用者のニーズにしっかりと対応していく所存です。ありがたいことに仕事はまだあります。今の時期に頑張っていきたいと思います。

「ウイズコロナ」という時代が始まり、奄美群島をはじめ県や地域全体が明るい年となることを未来志向で願うとともに、業界の会員企業が、一層発展されるように皆様と共に歩んでまいりたいと存じます。

魅力ある業界づくりに努めることを誓いまして、新年の挨拶とさせていただきます。

# 晴れのご受章

## 心からお祝い申し上げます

### 旭日双光章

内門 一郎 (株)内門工務店



新年あけましておめでとうございます。  
2022年秋の叙勲の栄を受け旭日双光章を賜りました。

これもひとえに、そばで支えてくれた家族や社員そして業界の先輩方のおかげと心より感謝申し上げます。

建設業を取り巻く環境は、コロナ禍の中経済の悪化により大変厳しい状況が続いております。これまで以上に心を引き締め、働き方改革を推進し担い手の確保育成等に少しでも貢献できればと思います。又、趣味のゴルフ(HD15)と囲碁(自称4級)も少しでも上を目指して頑張ります。

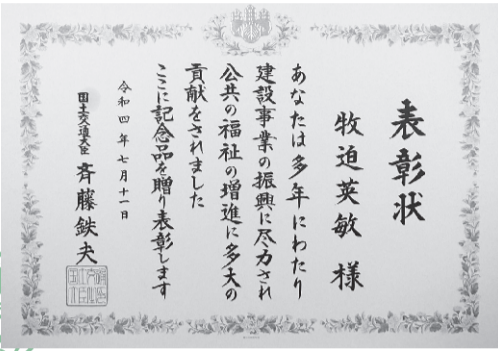
今後も業界発展の為に微力ながら尽くしていきたいと思っておりますので、なお一層のご指導をお願いいたします。

### 国土交通大臣表彰

牧迫 英敏 (株)牧迫建設



新年明けましておめでとうございます。  
協会のご推薦をいただき、昨年七月、国土交通大臣表彰の栄を賜りました。これも偏に会長をはじめ役員、事務局の皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。これまで様々な経験をさせて頂いたことに感謝申し上げます。  
今後も業界発展のため微力ながら尽くしていきたいと思っておりますので、なお一層のご指導の程宜しくお願い致します。



# 年男のコーナー

## 二〇二三年 卯年

### 気づいてみれば 古希を過ぎて

牧建設(株) 石井 芳樹



謹んで新春をお祝い申し上げます。  
新型コロナウイルスも第八波となりなかなか収束いたしません。マスクなしで大声で笑える年になることを願っています。  
私は、この職業について49年目となります。最初は、T定規で線を引き、次に平行定規になりまして。ドラフターが出てきたと

き「すごいな」と思いました。その時代に、最も凄いなと思った人がいました。その人はサッシの施工図を書く人で、なんとトレーシングペーパーの裏にスラスラと逆さ文字を書いていました。図面を表に、文字を裏に書く、素晴らしい技能だと感じました。  
その後、製図はドラフターからCADに代わり、逆さ文字の技能も不要となり、CADも二次元から三次元になり、今やBIMと称する訳のわからない物(とにかく使いこなせない)も出てきています。  
施工管理にしても、最近ではNET回線を現場に引き、マイクソフト、チームズで監視者とWEB会議とか、情報共有システムの導入、遠隔操作式の監視カメラで現場に來なくても現場状況を把握するとか、新しい技術や方法がどんどん出てきて、かつてはパソコンの使用方法を教えた子供たちに色々と教えてもらっている今日この頃です。  
今年、癸卯年になります。成長する年だそう。皆様におかれましては、ウサギのように飛び上がり大きく成長し、素晴らしい1年になることをお祈り申し上げます。

### 還暦を迎えて

米満建設(株) 米満 浩



新年あけましておめでとうございます。いろいろこれまでであつた中、還暦を迎える事となりました。  
今、日本は非常に困難な状況を迎えています。戦争、疫

病(金融不安等、私たちの仕事にも影響のあることばかりです。私は数年前に生死をさまよう大病を患いました。父が50歳で亡くなり自分はそういう事はなと信じておりましたが、やはり年齢的にそういうものかと思えました。人間は生きていてこそ何かしらやる事ができると感じ、現在は自分の事だけではな

### 一つ一つ着実に

(株)東宝建設 東 優一



新年あけましておめでとうございます。  
昨年はウクライナ侵攻に始まり、世界や日本にとって激動の一年となりました。物価高による影響は多岐に渡り、自社にとつ

ても辛抱の一年となりました。同様の感想を持たれた方も多いいのではないのでしょうか。  
ただ、一年を振り返ると元気をもらえるニュースも多かったです。  
野球の大谷選手やサッカーの日本代表メンバーの活躍は私達に勇気を与えてくれました。昨年を乗り越えた様に本年

### 昭和十四年生まれの会員



上場 守 樹 (株)上場組

### 昭和二十六年生まれの会員



石井 芳樹 (株)牧建設

### 昭和二十八年生まれの会員



川口 和範 (株)川口建設

### 昭和二十八年生まれの会員



木之下 秀司 (株)木之下工務店

### 昭和二十八年生まれの会員



新園 博典 (株)富士建設

### 昭和二十八年生まれの会員



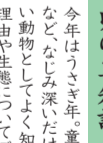
本田 和幸 (株)本田建設

### 昭和二十八年生まれの会員



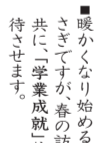
松元 利道 (株)松元組

### 昭和二十八年生まれの会員



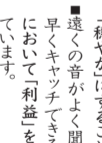
前野 健二 (株)前野建設

### 昭和二十八年生まれの会員



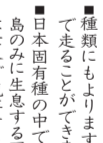
米満 浩 (株)米満建設

### 昭和二十八年生まれの会員



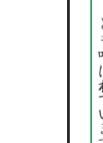
東 優一 (株)東宝建設

### 昭和二十八年生まれの会員



福地 茂穂 (株)福地建設

### 昭和二十八年生まれの会員



末廣 浩二 (株)末広

## 新安全標語とキャッチフレーズが決定しました!

令和5年度から使用する安全標語及びキャッチフレーズを募集いたしましたところ、多数のご応募をいただき誠にありがとうございました。  
選考に際しては安全標語等選考委員会により厳正な審査が行われ、3点が採用されました。

安全標語 応募総数107点

最優秀賞 確認よしその一言がいのちづな

優秀賞 念のため指差し声出し 何度でも

キャッチフレーズ 応募総数72点

最優秀賞 形をつくる

優秀賞 未来をつくる私たち



安全標語等選考委員会(労務委員会)(11月28日)  
委員長:鹿児島県土木建築技監 福永貴幸氏  
ほか、外部委員5名、当協会委員4名 計10名

### 事務局だより

事務局内 亜砂美



新年明けましておめでとうございます。  
昨年9月から事務局職員として勤務して

いる内亜砂美と申します。生まれも育ちも鹿児島です。嗜む程度ですがお酒が好きで、家飲みで色々なお酒を楽しんでいます。社交的な性格ですので事務局にお寄りの際は気軽に声をかけてください。皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

新年明けましておめでとうございます。  
昨年9月から事務局職員として勤務して



▲鹿児島県との協議会〈総務・工事委員会〉(10月31日)

建築積算等に関する研修会  
〈工事委員会〉  
(11月18日他)



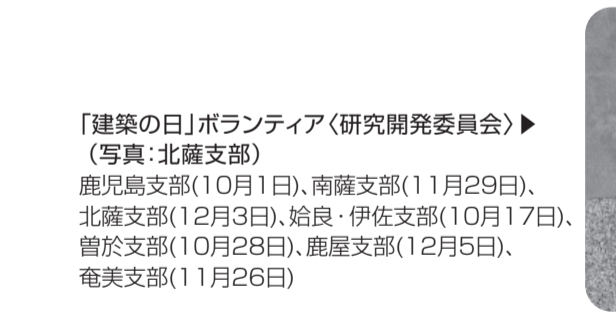
▼年末・年始労働災害防止  
強調期間説明会  
〈労務委員会〉  
(11月24日)



自民党県議団建設問題  
調査会との協議会  
〈総務委員会〉  
(12月2日)



▼森山ひろし先生との協議会  
〈建築四団体〉  
(12月17日)



「建築の日」ボランティア〈研究開発委員会〉  
(写真:北薩支部)  
鹿児島支部(10月1日)、南薩支部(11月29日)、  
北薩支部(12月3日)、始良・伊佐支部(10月17日)、  
曾於支部(10月28日)、鹿屋支部(12月5日)、  
奄美支部(11月26日)



合同安全パトロール  
〈労務委員会〉  
(10月24日)

建築物石綿含有建材  
調査者講習  
〈労務委員会〉  
(5月9日~10日 他)



▼令和4年度通常総会懇親会  
(5月27日)



# 協会の動き

全国安全週間  
説明会  
〈労務委員会〉  
(6月16日)



▼建築関係技術者研修会  
〈工事委員会〉  
(7月15日他)



▲建築専門業団体との協議会  
〈研究開発委員会〉(9月26日)



▼2022かごしま住まいと建築展  
〈工事委員会〉  
(10月22日~23日)



## 安全祈願祭 第四十六回安全大会

労務委員会の事業の一環である安全祈願祭及び第四十六回安全大会が、鹿児島県護国神社にて開催されました。今回も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を制限し、約60名が参加しました。

功績賞  
溝上 光  
株式会社 前田組

厳かに執り行われた安全祈願祭では、米賓・建築専門業団体・建築協会の代表が玉串を奉げ安全を祈願しました。

功績賞  
中崎 徹  
株式会社 岩田組



功績賞  
三重 保  
株式会社 岩田組

その後、場所を講堂に移し、建築協会会長の挨拶で始まった安全大会では各種表彰の授与や来賓の方々よりご祝辞を賜った後、大会宣言をもって締めくくられ今年一年の無事故・無災害を誓い合いました。各種表彰者の受賞は次の通りです。

安全衛生管理優良賞  
坂本建設・内村建設特定建設工事共同企業体  
工事名:西伊敷住宅32号棟新築本体内工事  
(発注者:鹿児島市)

☆令和4年度  
建設業労働災害防止協会  
鹿児島県支部 支部長  
表彰

最優秀賞(懸垂幕)  
日高 崇恵

優良賞(事業場賞)  
株式会社 川井田組  
株式会社 鶴留建設

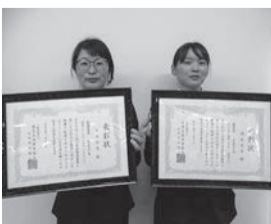
最優秀賞  
日高 隆

功労賞  
永田 康朗  
株式会社 三栄ハウジング

功績賞  
キヤッチフレース  
夏美 羽生

竹下 章  
竹下建設株式会社

功績賞  
株式会社 吉留住設



# 青年部会 新年のご挨拶



一般社団法人鹿児島県建築協会  
青年部会 部長 重留 巧治



新年あけましておめでと  
うございます。  
平素より私ども青年部  
会の活動に對しましてご  
理解とご協力を賜わり、  
誠にありがとうございます。  
また、建築協会の中村

ていた事業が各委員長を  
中心に実施されました。  
昨年度までは新型コロナ  
感染拡大を懸念して、ほ  
とんどの事業を中止また  
は規模を縮小しての活動  
でしたが、本年度はコナ  
以前の事業規模までには  
届かないまでも、感染対策  
を十分に行うことで多く  
の事業を実施することが  
できました。

「青年部会定時総会に始  
まり、今後適用される残  
業上限規制をテーマにし  
た「経営者講習会」、長時  
間労働の是正および生産  
性の向上に役立つ「IT  
ツールをテーマとした  
「WEB発信セミナー」、  
かごしま住まいと建築展  
の中で実施をさせていた  
だいた高校生や短大生、  
専門学校生を対象とした  
建築施工と地元企業の魅  
力を伝える「学生との交  
流会」などをそれぞれ開  
催いたしました。ほかにも  
三年ぶりとなる熊本県な

らびに宮崎県建築協会青  
年部との三県合同懇談会  
に人数制限をかつつも  
参加し交流を図ってまい  
りました。  
青年部会の活動を通し  
て、会員や会員企業のた  
めに何かしら還元、反映  
できるような内容の事業  
を計画、実施することが  
青年部会の意義であると  
考えます。同時に、同業  
種・同年代ならではの悩  
みや問題の解決への糸口  
となることや、情報の共  
有を図ること、お互い切  
磋琢磨し合うことなど、

青年部会で活動すること  
で今後の建築業界や会員  
企業の成長につながる非  
常に良い交流の場でもあ  
ります。  
本年も私ども青年部会  
は、活発かつ有意義な青  
年部会活動を取り組んで  
まいりますので、一層のご  
指導とお力添えを賜りま  
すようお願い申し上げます。  
また、本年も皆様にとつ  
て良き年、幸多き年とな  
りますことを祈念申し  
上げまして、新年の挨拶  
とさせていただきます。

## 青年部会会員募集

青年部会では会員(50歳以下)を募集しています。  
詳細については、建築協会事務局までお問い合わせ下さい。

### 新入会員です よろしく願っています!



(株)橋口組  
橋口 宗一郎さん  
会員研修委員会



国基建設(株)  
下小野田 隆平さん  
活動委員会

交流会を3校計画して  
おり、実際に建築業で働  
いている方々との交流会  
を通して、日々の業務内  
容ややりがい等の生の声  
を直接届け建築施工の  
楽しさ・魅力に触れても  
らいたいと考えておりま  
す。

### 総務・IT委員長 中村 俊仁



新年あけましておめ  
でと、ございます。  
平素より青年部会及  
び総務・IT委員会の活  
動に對しましてご理解  
とご協力を賜り、誠にあ  
りがとうございます。

総務・IT委員会で  
は、青年部会運営が円滑  
により発展できるように  
活動しております。  
活動内容といたしま  
しては、総会の運営、20  
00誌の発行、WEB発  
信セミナーの開催等を行  
っております。

またWEB発信セミ  
ナーでは人手不足や  
IT化の進んでいく中  
で、青年部会の皆様に少  
しでもお役に立てる内  
容で講演を実施してま  
いります。  
本年も青年部会らし  
く活発に活動し青年部  
会の活動を通して建築  
できるような取り組んで  
まいりますので、引き続  
きご指導ご鞭撻の程、宜  
しくお願い致します。

### 会員研修委員長 田頭 謙一



新年あけましておめ  
でと、ございます。  
平素より会員研修委  
員会の活動にご理解ご  
協力をいただき感謝申  
上げます。会員研修委  
員会では、経営者として  
資質を高めるため、時代  
の変化に對していくた

め、経営者講習会を毎年  
開催しております。昨年  
は、2024年に建設業  
も適用される「残業上限  
規制」についての講習会  
を行いました。法改正の  
概要や、どのような対応  
をすればよいか事例も  
含めて解説いただきました  
。残業上限規制につ  
いては、コンプライア  
ンス上はもちろん、雇用や  
給与へ影響するため、経  
営に直結する問題です。  
みなさんの関心も高く、  
質疑も多く有意義な講  
習会となりました。  
会員拡大では、各会員

から協力をいただきな  
がら、候補者へのアピ  
ルを続けていきます。三  
県合同懇談会は、3年ぶ  
りに熊本で盛況に開催  
され、エリアを越えた情  
報交換ができました。そ  
の他、会員交流会では、  
青年部会の一体感を向  
上させるため、会員同士  
の交流の機会をつくって  
います。3月にも現場見  
学を予定しております  
ので、多数の参加をお待  
ちしております。本年も  
どうぞよろしく願いま  
します。

### 活動委員長 吉留 祐介



新年あけましておめ  
でと、ございます。平素よ  
り当委員会の活動に関  
しましてご理解、ご協力  
賜りまして誠にありが  
とうございます。  
活動委員会とは、若年  
層を含む全ての方々に建  
築業の魅力と存在意義

を伝え、業界の底上げを  
することを目的として  
設置された委員会です。  
今年度の活動としてはコ  
ロナ禍で開催された「住  
まいと建築展」における  
3年ぶりのブース出展  
や、青年部会会員と学生  
との交流会を多くの方  
ご協力のもと実施するこ  
とができました。  
今後の活動といたしま  
しては1月に昨年同様、  
ボランティア活動を行い  
地域の皆様へ日頃の恩返  
しと環境美化を図る所  
存です。また2・3月には  
学校訪問型の学生との

交流会を3校計画して  
おり、実際に建築業で働  
いている方々との交流会  
を通して、日々の業務内  
容ややりがい等の生の声  
を直接届け建築施工の  
楽しさ・魅力に触れても  
らいたいと考えておりま  
す。  
委員長就任1年目  
ですので、様々な事に積極  
的に取り組み、その経験  
を糧として次年度以降  
に繋げて参りたいと思  
います。引き続きのご指導  
ご鞭撻のほど宜しくお願い  
いたします。



定時総会  
(令和4年4月15日)



WEB発信セミナー  
(令和4年12月21日)



2022年鹿児島住まいと  
建築展/学生との交流会  
(令和4年10月23日)